



## 令和6年度を迎えて

会長 門田 民世

年始から相次ぐ災害や事故のニュースに、驚きと悲しい気持ちでいっぱいでした。特に元旦に発生した能登半島地震では、被災者が今なお困難な生活を強いられていると伺います。南海トラフ地震が危ぶまれる昨今。到底、他人事には思えず、公私ともに備えを見直さなくてはと思います。犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、新年度の話。主に県の委託事業（養成講座・現任研修・認定試験）と派遣事業との両輪で活動をしていることは会員の皆様には周知のことと思います。事業は滞りなく運営し、既に今年度の養成講座も始まりました。でも、課題はあります。県内サークルのなかでは比較的会員数が多い当会ですが、今は最盛期の7割ほどの会員数に。年齢、仕事・家庭の事情などでの退会や講座修了生が誕生しても直ぐに要約筆記者として活動ができないことで、新規入会が伸び悩んでいるように見受けます。

会員の減少は、活動の継続が危ぶまれることにつながりかねない由々しき事態です。中途失聴者・難聴者の聞こえを文字により保障し権利を擁護するため、一定の知識や技術を担保する現行の認定試験制度は必要不可欠です。でも、試験に合格しなければ何も活動できないわけではありません。通訳という派遣活動には制約があっても、要約筆記の普及、啓蒙活動は可能でその力を必要とさえしています。私たちの最終目標は、音声情報へのバリアフリーをとおして障害の有無に関わらず誰もが暮らしやすい社会を実現すること。

「何のために」「誰のために」という原点に立ち返り、ぜひ歩みを止めないでいただきたい。修了生には、入会をして要約筆記への関わりを持ち続けていただきたいと切に願います。令和6年度が実り多い年となるよう、ともに力を合わせて頑張っていきましょう。

やまもも会員  
5月現在 49名  
(内 賛助会員6名)

### <目次>

- 1面 令和6年度を迎えて（門田民世）
- 2面 やまももの各事業の紹介
- 3面 読書(宮崎幹) 近況(溝淵三枝子)
- 4面 活動報告予定

ホームページ：<http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/>

TEL：088-879-5534 FAX：088-866-9755 e-mail：youyaku.kouchi@gmail.com

Twitter：@youyaku\_y Facebook：youyaku.y Instagram：youyaku.y

# やまももの各事業の紹介

各事業担当から、活動内容の紹介や今年度の目標などについて紹介します。

## 養成講座

今年度は、5/11(土)～R7.2/1(土)まで、計38回の開催予定です。

後進育成の大切な委託事業ですが現任者も初心に戻る機会になる場です。学ぶ内容は奥が深く毎回新たな気づきがあるはず。情報保障だけでなく聴講生でも御参加ください。

## ホームページ

ホームページ部門では、広報誌のHPの掲載、Instagramと連携し、講座や派遣、その他の活動の写真を掲載しています。

また、ホームページのバナーをクリックして、Amazonでお買い物をすると、売上げの一部が広告料としてやまももの収入になるAmazonアソシエイトにご協力ください。(購入金額に影響はありません。)

## 企画

書き損じハガキ&寄付切手回収事業、講座開催前CM依頼などを担当しています。要約筆記活動への理解と支援の輪を広げる役割の一翼を担います。

一緒に活動していただける方も随時募集していますので、よろしく願いいたします。

## 管理

名簿やユニフォーム、パソコン等の機材管理や物品管理、ボランティア保険等の加入手続き、現任研修や認定試験模擬テスト等の周知・取りまとめ、新入会員への必要物品の準備等、さまざまな管理業務を担当しています。引越し等で住所や緊急連絡先等に変更のあった方は速やかに管理までお知らせください。今年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 利用者担当

高知県難聴者・中途失聴者の会では、「交流と学びの場を提供し、互いに支え合う」を目的としています。今年も昨年に引き続き、佐川町の散策、ガラス絵や俳句の教室を予定しております。

また今年度、初の試みとして、出前講座をお呼びします。多くの会員の皆さま、ご参加をお待ちしております。

## 派遣・啓発

令和5年度の派遣・啓発にご協力ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、昨年は対面のイベントが増えました。要約筆記者派遣は10月以降に集中し全体で前年比1.5倍超に増加。法改正もあり令和6年度も増加が見込まれます。派遣・啓発活動は要約筆記派遣以外の活動もあります。新メンバーの皆様も積極的に参加ください！様々な活動にぜひご協力をお願いいたします。

## 勉強会

要約筆記技術や支援におけるスキルアップ向上を目的として勉強会を開催しています。勉強会は、木曜会(手書き)、パソコン、合同勉強会があります。日程は、「広報・おしらせ」や「サークルスクエア」で確認ください。皆さんの参加をお待ちしています。



宮崎 幹

今回、読書コーナーの原稿を依頼されましたが、普段本を読まないのですごく困りました。最近の話ではなく、私が子供の頃に読んだ本の話をしてします。

私の母は本を読んでもらいたかったようで世界名作童話や日本昔話の本など、何十冊も買ってくれていました。しかしあまりにも読まないで「ちょっとは読んだや」と言われ日本昔話 60 巻を読んだり世界名作童話を全巻読んだりしました。読んでみると面白く、とてもためになる話ばかり。

保育園児のときは、ぐりとぐらシリーズの絵本にはまってすごく読んだ記憶があります。小学生の時はおばけの話という本にはまり、誕生日プレゼントに買ってもらったりしました。今も実家には日本昔話 60 巻や世界名作童話などあり私の子供達もお世話になりました。

漢字がたくさん出てくるわけではないし、文章も短いですが、良いことや悪いこと、何が大切なのかを教えてくれる本に出会えたことと、用意してくれた親には感謝です。



『 意識のありどころ 』

溝淵三枝子

4月1日に合理的配慮の提供が事業者にも義務化となった。実施に当たっては事業者と障害者が話し合い、理解を深め可能な範囲で対応することと厚労省のリーフレットにある。令和3年の法施行が話題にならなかったように、今回もニュースになる気配はない。世の興味関心を惹くものでないからかメディアも取り上げない。それでも、改正に伴い企業等事業所では研修、準備がなされているところもあると聞く。少しずついい方向に進むことを期待する。

ところが、ある車椅子利用者が「レストランで入り口の段を担いでもらいたいと店側に頼んだら“それに対応できる人はいない”と断られた…」という書き込みを SNS にした。それに対し一般の人々の「・・・やってもらって当たり前と思うな・・・」という類いの書き込みの多いこと、多いこと。社会の仕組みは普通の人、健常者が基準である。マイノリティな障害者はどこかで生きづらさを抱えることになる。意識は常に法の後をついて行くというが、どれくらい後なのだろう。





## 令和6年5月のお知らせ

### 6年5月活動予定

日・曜	会合名	時間	場所
11日(土)	要約筆記者養成講座 1回	9:30~13:00	高知市障害者福祉センター
	合同勉強会	13:30~15:30	高知市障害者福祉センター
12日(日)	総会 第2回理事会	10:00~14:00	高知市障害者福祉センター
	南海トラフ地震対策セミナー	14:30~16:40	香南市夜須公民館
16日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
	香南市人権教育研究協議会総会	13:00~16:10	香南市夜須公民館
18日(土)	要約筆記者養成講座2回	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
	高知県中途失聴者・難聴者の会総会	13:30~16:00	高知市障害者福祉センター
19日(日)	理事例会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
23日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
25日(土)	要約筆記者養成講座3回	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
	パソコン勉強会	20:00~21:30	Zoom
30日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター

### 6年4月活動追加

日・曜	会合名	時間	場所
	なし		

#### <理事例会便り>

- 令和6年度のボランティア保険は、地震保障にも対応しています。
  - 赤十字活動資金へ寄付することに決まりました。
  - 令和5年度高知県要約筆記者認定試験の合格者はありません。
  - 5/11(土)から令和6年度養成講座が始まります。
- スタッフ並びに情報保障へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



#### 理事例会等開催予定

	月日	時間	場所
6月理事例会	6月1日(土)	13:30~15:30	高知市障害者福祉センター

#### 【 編集後記 】

新年度が始まって早一か月。GWも終わりましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか？

私は、やまもの同期と一緒に、安芸市にある伊尾木洞に行ってきました。NHKの朝ドラ「らんまん」を見ていた方も多いと思います。主人公のモデルとなった牧野富太郎先生が訪れたという場所です。地元ですが、実は初めてでした。前日は雨だったこと、マムシが出る可能性もあるとのことで、長靴を履きいざ入洞。薄暗い洞窟を抜けると、そこには天然記念物のシダ群生と木漏れ日が降り注ぐ緑の世界が広がり、幻想的な世界に引き込まれました。同期も喜んでくれ、楽しい時間を過ごしました。

全く知らなかった人間と要約筆記者がきっかけで巡り会えた仲間。今の環境を大切にして、これからも活動していきたいと思います。